



フェアな価格 確かな信頼

ローリーラック

Lorry Rack

☆RIM LORRY RACK PRICE INTELLIGENCE DAILY

★No. 5271 Sep 1 2020

Copyright (C) 2020 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

東京時間2020年9月1日火曜日17時30分<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

1日のレックス22は、前日から0.20ポイント上昇し67.52です

-----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス(週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
CROSS VIEW軽油	CROSS VIEW重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail info@rim-intelligence.co.jp

東京時間2020年9月1日火曜日17時30分<Assessment Closing Time>

◎東名阪製油所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	千葉	中値	前日比	川崎	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン	44.9~45.9	45.40	+0.10	45.0~45.9	45.45	0.00	45.43	+0.05
灯油	46.7~47.3	47.00	0.00	46.5~47.3	46.90	0.00	46.95	0.00
課税軽油	46.1~47.0	46.55	0.00	46.1~47.0	46.55	0.00	46.55	0.00
未課税軽油	46.7~47.5	47.10	0.00	46.7~47.5	47.10	0.00	47.10	0.00
A重油	45.2~45.5	45.35	0.00	45.2~45.5	45.35	0.00	45.35	0.00
LSA重油	45.7~46.0	45.85	0.00	45.6~46.0	45.80	0.00	45.83	0.00

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	4リム中値	前日比
ガソリン	44.2~44.7	44.45	0.00	44.2~45.1	44.65	0.00	44.99	+0.03
灯油	46.8~47.5	47.15	0.00	47.0~47.5	47.25	0.00	47.08	0.00
課税軽油	46.5~47.5	47.00	-0.15	46.0~47.0	46.50	+0.10	46.65	-0.01
未課税軽油	47.5~48.0	47.75	+0.10	47.4~47.6	47.50	0.00	47.36	+0.02
A重油	45.5~46.0	45.75	0.00	45.3~46.0	45.65	-0.05	45.53	-0.01
LSA重油	46.0~46.5	46.25	0.00	45.8~46.5	46.15	-0.05	46.01	-0.02

◎東名阪油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	八潮	中値	前日比	横浜	中値	前日比	京浜中値	前日比
ガソリン	45.4~46.0	45.70	0.00	43.2~44.2	43.70	-1.80	44.70	-0.90
灯油	48.2~48.8	48.50	0.00	45.8~46.3	46.05	0.00	47.28	0.00
軽油	48.3~49.1	48.70	0.00	47.0~48.0	47.50	-0.50	48.10	-0.25
LSA重油	47.8~48.0	47.90	0.00	46.5~46.7	46.60	-0.20	47.25	-0.10

油種	中京	中値	前日比	阪神	中値	前日比	油槽所中値	前日比
ガソリン	43.9~44.5	44.20	+0.80	43.5~44.5	44.00	0.00	44.40	-0.25
灯油	45.9~46.5	46.20	0.00	46.5~47.5	47.00	0.00	46.94	0.00
軽油	46.0~47.0	46.50	0.00	46.5~47.5	47.00	0.00	47.43	-0.12
LSA重油	45.9~46.5	46.20	0.00	46.0~46.7	46.35	-0.05	46.76	-0.07

※前日比は中値ベース

※製油所の京浜中値は千葉・川崎中値の単純平均値

※4リム中値は千葉・川崎・中京・阪神製油所の単純平均値

※油槽所の京浜中値は八潮、横浜中値の単純平均値

※油槽所中値は八潮、横浜、中京、阪神の単純平均値

※ローリーラック価格、輸入採算価格、海陸市況格差、先物のガソリンはレギュラーが対象で揮発油税53.8円を含まず

※軽油は軽油引取り税32.1円を含まず

※中値は小数点第3位を四捨五入

※原油輸入平均CIF価格の r は修正

※為替は三菱UFJ銀行が午前10時30分に発表する数値を使用

◎東名阪製油所・油槽所出し中値平均値 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	京浜地区	前日比	中京地区	前日比	阪神地区	前日比
ガソリン	45.06	-0.43	44.33	+0.40	44.33	0.00
灯油	47.11	0.00	46.68	0.00	47.13	0.00
軽油	47.25	-0.08	47.08	-0.02	47.00	+0.03
A重油	45.35	0.00	45.75	0.00	45.65	-0.05
LSA重油	46.54	-0.05	46.23	0.00	46.25	-0.05

※A重油は製油所平均値

◎その他の製油所・油槽所出しローリーラック市況 (EXパイプ、円/リットル、サイト30日以内)

油種	北海道	中値	前日比	仙台	中値	前日比
ガソリン	46.0~46.5	46.25	0.00	46.3~46.7	46.50	0.00
灯油	45.3~46.3	45.80	-0.10	47.5~47.8	47.65	0.00
軽油	47.0~47.5	47.25	0.00	47.0~47.5	47.25	0.00
A重油	45.5~46.0	45.75	0.00	45.5~45.8	45.65	0.00
LSA重油	-	-	-	46.0~46.3	46.15	0.00

油種	四国	中値	前日比	福岡	中値	前日比
ガソリン	45.5~46.0	45.75	0.00	44.2~44.7	44.45	+0.20
灯油	47.7~48.4	48.05	-0.20	47.5~48.1	47.80	+0.15
軽油	46.5~47.5	47.00	0.00	47.5~48.0	47.75	+0.10
A重油	46.2~46.9	46.55	-0.20	46.4~47.0	46.70	0.00
LSA重油	46.7~47.4	47.05	-0.20	46.9~47.5	47.20	0.00

※北海道は10月31日でLSA重油のアセスメントを中止しました

◎SS向けスポット卸市況 (円/リットル、ローリー届け、1.0~1.5円運賃圏)

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
ガソリン	100.0~101.0	0.0	97.5~98.5	0.0	98.5~99.5	0.0
灯油	48.0~49.0	0.0	47.5~48.5	0.0	48.5~49.5	0.0
軽油	79.5~80.5	0.0	79.5~80.5	0.0	79.5~80.5	0.0

◎ユーザー向け産業燃料油市況 (円/リットル、ローリー届け、1.5円以下運賃圏、大口向け、9月分)

油種	京浜	前日比	中京	前日比	阪神	前日比
灯油	47.5~48.5	0.0	48.0~49.0	0.0	47.5~48.5	0.0
軽油	78.3~79.3	0.0	78.5~79.5	0.0	79.0~80.0	0.0
A重油	47.0~48.0	0.0	46.0~47.0	0.0	46.5~47.5	0.0
LSA重油	47.5~48.5	0.0	47.0~48.0	0.0	47.0~48.0	0.0

※前日比は中値ベース

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の京浜地区は製油所の京浜中値と油槽所の京浜中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の中京地区は製油所の中京中値と油槽所の中京中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の阪神地区は製油所の阪神中値と油槽所の阪神中値の単純平均値

※東名阪製油所・油槽所出し中値平均値の軽油は製油所の課税、未課税、油槽所の単純平均値

※SS向けスポット卸市況およびユーザー向け産業燃料油市況は揮発油税・軽油引取り税を含む

※中値は小数点第3位を四捨五入

◎東商取バージ先物・日中取引(東京湾岸製油所・油槽所出しバージ取り、円/リットル)

ガソリン		始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高	
10月限	41.80	41.83	41.80	41.83	+0.13	3		
11月限	41.40	41.97	41.40	41.97	+0.22	4		
12月限	41.48	41.71	41.48	41.71	+0.05	5		
1月限	41.67	41.71	41.57	41.71	-0.02	8		
2月限	41.19	41.71	41.19	41.71	+0.07	63		
3月限	41.88	42.13	41.88	42.10	+0.01	41		
合計						124		
灯油								
10月限	-	-	-	43.43	+0.46	-		
11月限	43.43	43.43	43.43	43.43	+0.23	1		
12月限	-	-	-	43.40	-0.07	-		
1月限	43.40	43.58	43.40	43.58	+0.11	7		
2月限	43.30	43.59	43.25	43.50	+0.17	40		
3月限	43.59	43.77	43.33	43.77	+0.39	32		
合計						80		
軽油								
10月限	-	-	-	48.70	-0.20	-		
11月限	-	-	-	48.90	-0.20	-		
12月限	-	-	-	49.10	-0.20	-		
1月限	-	-	-	49.30	-0.20	-		
2月限	-	-	-	49.50	-0.20	-		
3月限	-	-	-	49.70	-0.20	-		
合計						-		
原油								
9月限	29.98	30.05	29.81	29.94	-0.07	13		
10月限	29.99	30.11	29.99	30.05	-0.16	53	取組高 (8/31)	
11月限	30.34	30.34	30.12	30.19	-0.15	20	ガソリン 売 1,777 買 1,777	
12月限	30.46	30.46	30.02	30.21	-0.23	342	灯油 売 987 買 987	
1月限	30.40	30.57	30.30	30.39	-0.23	2,788	軽油 売 0 買 0	
2月限	30.60	30.68	30.52	30.59	-	825	原油 売 158,952 買 158,952	
合計						4,041	1枚=50kl	

◎東商取中京ローリー先物・日中取引(潮見および飛島油槽所出しローリー取り、円/リットル)

ガソリン		始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高	
10月限	42.60	43.60	42.60	43.60	+1.20	2		
11月限	42.70	43.70	42.70	43.70	+1.30	2		
12月限	42.80	43.80	42.80	43.80	+1.40	2		
1月限	42.80	43.70	42.80	43.70	+1.30	2		
2月限	-	-	-	42.40	0.00	-		
3月限	-	-	-	42.40	0.00	-		
合計						8		
灯油								
10月限	45.50	46.40	45.50	46.40	+0.90	2		
11月限	45.60	46.60	45.60	46.60	+1.90	2		
12月限	45.70	46.70	45.70	46.70	+1.90	2		
1月限	45.80	46.80	45.80	46.80	+1.90	2	取組高 (8/31)	
2月限	45.80	46.80	45.80	46.80	+1.80	2	ガソリン 売 1,264 買 1,264	
3月限	-	-	-	45.00	0.00	-		灯油 売 1,177 買 1,177
合計						10	1枚=10kl	

◎輸入採算価格 (SR船型、韓国出し、関税・石油石炭税込、円/kl)

	北海道	前日比	京浜	前日比	中京	前日比	関門	前日比
ガソリン	40,309	+516	40,107	+514	39,906	+514	39,637	+513
灯油	35,183	-577	34,981	-578	34,780	-579	34,511	-580
軽油	39,520	-457	39,318	-459	39,117	-459	38,848	-460
LSA重油	33,214	-470	33,012	-472	32,810	-473	32,541	-474

※SR船型による輸入、LSA重油は免税ベース、軽油は硫黄分10ppm

※輸入採算価格はリムアジア製品レポート掲載のシンガポール市況(ペーパー)をベース

◎海陸市況格差 (陸上4製油所平均-海上バージ市況)

ガソリン	-1.06	灯油	+4.46	未課税軽油	-1.24
A重油	-0.27	LSA重油	-0.29		

※4製油所平均=千葉、川崎、中京、阪神

◎指標原油

WTI (NYMEX	10月限,	\$/bbl,	8/31	close)	42.61	-0.36
WTI (NYMEX ACCESS	10月限,	\$/bbl,	9/1	5:00pm 東京時間)	43.15	+0.54
ドバイ (ペーパーズワップ,		\$/bbl,	9/1	東京夕刻)	45.11 ~ 45.15	-0.08
ドバイ (ペーパーズワップ,		円/kl,	9/1	東京夕刻)	30,343	+97
ドバイ (ペーパーズワップ,		円/kl,	8/26~9/1	平均)	30,199	+116
ドバイ (ペーパーズワップ,		円/kl,	8/18~8/24	平均)	29,493	-71
東商取ドバイ原油当限		(円/kl,	9/1	引け)	29,940	-70

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC、円/kl、財務省)

20/06/01-30	16,644r	20/07/01-31	22,055r	20/08/01-31	9月16日発表予定
20/06/01-10	15,891	20/07/01-10	20,236	20/08/01-10	27,919
20/06/11-20	16,168	20/07/11-20	21,814	20/08/11-20	9月7日発表予定
20/06/21-30	17,386	20/07/21-31	23,636	20/08/21-31	9月16日発表予定

◎Rim JCC予想値 (円/kl)

20/8月	29,340	±0	20/9月	30,840	+20	20/10月	31,300	-390
-------	--------	----	-------	--------	-----	--------	--------	------

ドバイ (ペーパーズワップ) は1日、8月26日~9月1日の平均値が30,199円と、8月25日の水準 (8月19~25日) から679円上昇した。米メキシコ湾岸でのハリケーンの発生を背景に供給懸念が強まり、WTI原油、ブレント原油とともにドバイ・スワップが買われた。JCC(Japan Crude Cocktail) 予想値は、8月物が8月25日比変わらずの29,340円。9月物が同比100円安の30,840円。10月物が同比230円安の31,300円。

◎概況・トッパー停止状況=4基、停止率13.4%
○陸上ローリー市況

1日の東名阪4リム製油所出しは小動きに終始。ENEOSや出光昭和シェルの仕切り改定を控え、様子を見る卸業者が大半だった。前日の値上げに対する反動も一部で見られたが、おおよそ前日並みの市況が維持された。ガソリンは千葉で前日比0.1円の上げに対し、川崎と中京、阪神はもち合った。

地方出荷地では、北海道と仙台がおおよそ様子見。四国は灯油と重油が冴えず、福岡は白3品が底上げされた。

○ドバイ原油市況

ドバイ原油価格は、東京時間の1日夕刻時点で前日比8セント安の45.11～45.15ドル。これを基にした円建て製品コストは同0.1円高の34円と試算される。10月の国内製品コスト推定値は、8月26日～9月25日算定で9月平均値から1円高の34円となる見込み。

製品コストが現在から同水準で推移する前提で試算した週間コストは、1日～7日分が前週比0.3円高の34円となりそうだ。

○元売り市中買い

民族系大手が東西で9月渡しガソリンの市中買いをスタート。この日は少なくとも200klを手当てしたようだ。民族系最大手や民族系、中堅元売りの動意は伝わらない。

○9～11月のアセスメント評価対象について

- ① 9月最終日の30日は水曜日となるため、通常どおり翌日の受渡物を評価対象とし、2～7日先までの受渡物が参考となります。
- ② 10月最終日の30日は金曜日となるため、11月2日の受渡物を評価対象とし、2～7日先までの受渡物が参考となります。
- ③ 11月最終日の30日は月曜日となるため、通常どおり翌日の受渡物を評価対象とし、2～7日先までの受渡物が参考となります。

◎北海道(苫小牧・石狩)

○概況

スポット流通玉市況は灯油が反落。全般的に様子見姿勢を取る卸業者が大勢であったが、2日渡しから下値を潜る売りが出現した。一方、ガソリン、軽油、重油はもち合った。3日からの主要元売りの仕切りは1.0～1.5円の引き上げが見込まれるが、総じて需要が振るわないため、仮需めいた動きも乏しいと伝える卸業者がほとんどだ。

○ガソリン

46.0～46.5円（揮発油税込99.8～100.3円）と前日から横ばい。

動意薄で相場に影響を及ぼす動きはなかった。主要ディーラーの唱えも膠着したままで、需要の系列回帰も強く、仮需めいた動きもほとんど伝えられることはなかった。昨報のとおり、道内の小売市況は、札幌市内が全国的にも120円を下回る看板表示が増えるなど、安値圏に位置している。「政令指定都市でスポット玉の流通も少ないのに、小売市況が一番悪い。元売りのコントロールが効いていないため、今後どうするのか」（商社系デ

ィーラー）と、スポット取引以前に、小売市況の低迷を嘆く声も寄せられた。

2日期限では、在庫玉を原資とした複数ディーラーの唱えは苫小牧出しで99.8円、100.3円。

また、民族系元売り玉、および旧米メジャー系元売り玉を扱う商社系、広域ディーラーの唱えは100.3円と変化を欠いた。100.8～101.3円と一段高の唱えも散見されたが、系列対比で明らかに割高で調達対象として関心が寄せられていない。

○灯油

45.3~46.3円と前日比0.1円安。

反落。総じて買い気が乏しく、様子見姿勢を取る卸業者が大勢だった。また、9月は例年なら10月からの需要期に向けた積み上げの引き合いが増える時期だが、今年はずでにこれらが前倒しされている。これを意識した卸業者が下値を潜った。

在庫玉を扱う複数ディーラーの唱えは2日渡しから苦小牧出しで45.3~45.8円、46.3円

へ下振れ。石狩出しの唱えも45.8~46.3円へ下振れした。一部、苦小牧で45.3円割れ、石狩で45.8円割れの売りも点在したが、動意付いている様子はなかった。

また、民族系元売り玉を扱う商社系、広域、地場ディーラーの2日期限の唱えは苦小牧出しが46.3~47.0円のまま。旧米メジャー系元売りの広域ディーラー一段高の49.0円を唱えが維持されていた。

○軽油

47.0~47.5円と前日から横ばい。

買い気乏しく、卸業者の気配探りが続いている。

苦小牧出しの民族系元売り玉の未課税の唱えは2日期限で47.5~48.0円、48.3円。課税玉のディーラーの唱えは47.0円。旧米メジ

ヤー系元売り玉の複数広域ディーラーのうち、未課税は49.0円を課税で48.8円の唱えが伝えられるにとどまった。2日期限の系列対比で47.5円を超える玉は割高と見る向きが大勢であることも変わりなかった。

○重油

A重油は45.5~46.0円と前日から横ばい。

軽油同様に卸業者の気配探りが続いている。業者間の取引も精彩を欠いていたが、白油に比べれば動いている様子もあった。また、官公庁向けの2日渡しまでの納入に充当されているため、「オーダーは多くないのに2日渡しまでのローリーはかなり窮屈。当事者が利益確定売りしているんでしょう」（広域ディーラー）との声も寄せられた。

2日期限では民族系元売り玉を扱う卸業者が相場を形成。商社系、広域、地場ディーラ

ーの唱えは苦小牧出しで45.6~46.0円、46.3円以上。旧米メジャー系元売り玉広域ディーラーの唱えは2日期限で47.7円と一段高のまま。取引対象になっていない。

産業用燃料の9月納め交渉では、石狩管内のリネン工場向けは届け46円台後半の決着が伝えられた。市場関係者によると、落札したのは民族系大手元売りの販社。他社は48.0円を挟んだ応札が大勢で、追随できる水準ではなかったようだ。

◎東北（仙台）

○概況

仙台出しのスポット価格は、全油種で横ばいとなった。3日以降に適用される仕切り価格改定で引き上げ予想が出ているが、仮需めいたオーダーはなく、様子見ムードが強かった

青森、八戸では、ガソリンで今週の基準価格の上げ予想が多いことから、一定の仮需が見受けられ、唱えが小幅に切り上がった。一方で中間三品は、概ね前日から変わらなかった。

○ガソリン

46.3～46.7円(揮発油税込み100.1～100.5円)と前日から横ばい。

仙台出しは、前日水準を維持。3日以降に適用される仕切り価格改定で引き上げの予想が出ているが、仮需めいたこともなく、月初で市場関係者の多くが様子見に退いた。前日同様に広域ディーラーは100.1円、大手ディーラーは100.3円、ほかの広域ディーラー

は100.5円の唱えを維持した。

青森、八戸では、今週の基準価格の上げ予想が多いことから、一定の仮需が見受けられた。100円割れの価格は見当たらず、広域ディーラーの100.2円が安値と伝えられた。ほかの広域ディーラーは100.4～100.6円、複数の商社系ディーラーは100.8円、101.4円の販価を示した。

○灯油

47.5～47.8円と前日から変わらず。

仙台出しは、元売り各社の仕切り価格改定を控え、様子見ムードが強かった。前日同様に商社系、広域ディーラー間で47.5～47.8円の売買唱えが残る一方、需要難を背景に48.5円の売唱えに対しては、やや敬遠する声が寄せられた。

青森、八戸では、広域ディーラーが2日ま

で48.1円の販価を維持しており、概ね価格は変わらなかった。民族系大手元売り玉を扱うディーラーが48.3円、地場ディーラーと広域ディーラーは48.4円を提示するなど、48円台前半の価格が目立った。「夏場は給湯器の需要はあるが、今年は猛暑なので需要が薄い」(地場ディーラー)。

○軽油

47.0～47.5円と前日からもち合った。

仙台出しは前日から新規の材料はなく、取引相場は変わらなかった。未課税玉では、前日に続き商社系ディーラーの47.5円の販価が見受けられた。課税玉では、複数の広域ディーラーが47～47.3円の唱えを示している。一方、地場ディーラーは47.8円の唱えだが、未課税玉が47.5円で手当てできることから、オーダーの入りやすい水準は47.5円までと

の意見が聞かれた。

青森、八戸の課税玉では、概ね前日から変わらなかった。安値では複数の広域ディーラーが47.6円、47.7円を提示した。未課税玉では、広域ディーラーが2日まで48.1円の提示を継続している。ほかの商社系ディーラーから48.6円の唱えが見受けられ、49.3円など49円を超える価格も伝えられた。

○重油

A重油は45.5～45.8円、LSA重油は46.0～46.3円とそれぞれ前日から変わらなかった。

仙台出しのA重油は、月初の様子見ムードが鮮明で、価格改定を見送る卸業者が多かった。複数の商社系、広域ディーラーなどが45.5～45.8円の唱え継続した。

一方、ほかの広域ディーラーは46.5円の唱えだ

が、45円台後半の価格で手当て可能なことから、買い手にとって46.5円は割高に映るようだ。LSA重油は0.5円の格差で推移している。

青森、八戸のA重油は、前日に続き広域ディーラーの46.3円の唱えが残っていた。ほかには民族系大手元売り玉を扱うディーラーや地場ディーラーが46.4円の唱えを示している。

◎京浜

○概況

製油所出しでは千葉のガソリンが小幅に上昇した。ENEOSをはじめとした主要出し元各社が3日以降の仕切り価格を最大1.5円引き上げるとの見方から先高観測が強い。買い気が高まる半面、売り気が後退した。一方、その他は横ばいで推移した。原油、先物相場が小動きで推移したほか、元売りの仕切り改定結果をまずは見極めたいとする向きが多く、様子見ムードが支配的だった。

○ガソリン

製油所は千葉出しが前日から0.1円高の44.9～45.9円(揮発油税込み98.7～99.7円)、川崎出しが前日から横ばいの45.0～45.9円(揮発油税込み98.8～99.7円)。油槽所は東京・埼玉出しが前日から横ばいの45.4～46.0円(揮発油税込み99.2～99.8円)、横浜出しが前日から1.8円安の43.2～44.2円(揮発油税込み97.0～98.0円)。

千葉製油所出しでは小幅な値上げが進んだ。元売りの仕切り引き上げ期待から先高観測が出ているためだ。民族系大手元売り、横浜のタンク系ディーラーによる出物の吸い上げも旺盛で、売り気が後退気味だ。民族系元売りルートから仕入れる有力ディーラーが98.7円まで販価を引き上げた。民族系元売り玉を担いだ別の取扱いディーラーの複数は99.3～99.7円で販売を進めた。また、中堅元売り玉を扱う広域ディーラーは99.7円と、前日から0.7円販価を引き上げた。民族系大手元売りと横浜のタンク系ディーラーは99.5～99.6円でまとまった数量を調達したようだ。後者は100～100.3円でも計210kl買い付けたと、リムトレーディングボードに報告した。ただし、同水準で買い進める業者はごく限られた。

川崎製油所出しでは、民族系元売り玉の取扱い各社が98.8～99.7円で販売を継続した。旧外資系、旧米メジャー系、民族系最大手各元売りからそれぞれ仕入れるディーラーは100.1～101.2円で売値を据え置いたが、買い手の反応は鈍いままだった。

油槽所出しでは、東京・埼玉の動きがなかった。三愛東京オイルターミナル出しでは、複数の広域系、地場系ディーラーが99.2～99.8円で売値を据え置いた。先高を見越して、販価を一旦100.2円まで引き上げるディーラーもみられたが、こちらはオーダーけん制含みだったようだ。

一方、横浜では売りが先行した。大東タンクターミナルでは97～98円で取引可能となった。8月末に処分した在庫の積み上げが進んだようで、売り込みが加速した。3日から仕切りを引き上げるとみられる元売り各社が翌週は据え置くとの見方が出ている。3日出荷分以降は売りが先行するとの観測から早めの在庫処分に動いたとみられる。

SS届け市場では、群馬県南東部のガソリンスタンド(SS)向けに届け100円台前半～半ばの売り物が出回ったようだ。

小売市場では1日時点で、国道4号線沿いの栃木県小山市周辺にある独立系SSが112円でレギュラーガソリンの現金看板を掲げているという。プリペイドカード(プリカ)で110円と独歩安とされた。これに民族系最大手元売り系SSが現金看板120円(実売117円)で追随。プリカは115円のような。一方、同エリアの系列SSは看板123円(実売120～121円)での提示が主流と伝えられた。

国道50号線沿いの栃木県足利、佐野周辺のSSは123～126円の看板表示が主流。前週から目立った動きがみられなかった。

○灯油

製油所は千葉出しが前日から横ばいの46.7~47.3円、川崎出しが前日から横ばいの46.5~47.3円。油槽所は東京・埼玉出しが前日から横ばいの48.2~48.8円、横浜出しが前日から横ばいの45.8~46.3円。

千葉製油所出しでは、旧外資系元売り玉を取り扱う複数ディーラーが46.7~47.3円、民族系元売り玉を扱う商社系、広域系卸業者が47円、旧米メジャー系元売りから仕入れる商社系ディーラーが47.3円で商談を継続した。川崎製油所出しでは、民族系最大手元売り玉の取扱い地場ディーラーが46.5円で売値を据え置き、マーケットをけん引中だ。中堅元売りルートなどから47.5~49.3円で売り唱える業者も少なくなかったが、買い妙味は薄

いままだった。

油槽所出しも動きがみられなかった。東京・埼玉の三愛東京オイルターミナル出しでは、複数ディーラーが48.2~48.8円で販価を据え置いた。横浜では、セントラルタンクターミナル(CTT)横浜油槽所出しで在庫玉の取扱い各社が45.8~46.3円で商談を継続した。なお、大東タンクターミナルでは、有力地場ディーラーが47.1円まで値下げしたが、引き続きCTT横浜玉に比べて割高だった。

官公需入札案件では、東京都が31日開札した金町浄水場向け300klが届け47.5円で落札された。落札業者は、かまや。10月16日納入予定だ。

○軽油

製油所は課税玉の千葉出しが前日から横ばいの46.1~47.0円、川崎出しが前日から横ばいの46.1~47.0円。未課税玉は千葉出しが前日から横ばいの46.7~47.5円、川崎出しが前日から横ばいの46.7~47.5円。

油槽所は東京・埼玉出しが前日から横ばいの48.3~49.1円、横浜出しが前日から0.5円安の47.0~48.0円。

両製油所出し課税玉市場では、旧外資系元売り玉を扱う複数ディーラーが46.1~47円、民族系最大手元売り玉を扱う地場ディーラーが46.1円、民族系元売り玉の取扱いディーラーが46.5円、旧米メジャー系元売り玉を扱う有力ディーラーが47円でそれぞれ販売を進めた。中堅元売りから仕入れるディーラーなど47.2~48.4円で商談を進める業者も残ったが、買い妙味は薄いままだった。

両製油所出し未課税玉市場では、旧米メジャー系、旧外資系両元売りから仕入れる大手ディーラーが46.7~47.5円、民族系元売り玉の担いだ商社系ディーラーが47円で販売を継続した。中堅元売りルートの仕入れを有するディーラーなどは47.9~49.3円で提示中だが、積極的に買い進める業者は少ないままだった。

油槽所出しは東京・埼玉の動きがなかった。三愛東京オイルターミナル出しでは、複数ディーラーが課税玉、未課税玉を対象に48.3~49.1円で商談を継続した。

一方、横浜では売りが先行した。在庫が積み増されたようで、処分売りが出た。大東タンクターミナルで有力地場ディーラーが47円まで値下げし、買い手の感触を探った。広域ディーラーは48円で販価を据え置いた。

○重油

A重油の製油所は千葉出しが前日から横ばいの45.2~45.5円、川崎出しが前日から横ばいの45.2~45.5円。

LSA重油の製油所は千葉出しが前日から横ばいの45.7~46.0円、川崎出しが前日から横ばいの45.6~46.0円。油槽所は東京・埼玉出

しが前日から横ばいの47.8～48.0円、横浜出しが前日から0.2円安の46.5～46.7円。

千葉製油所出しLSA重油では、旧外資系元売り玉を扱う複数ディーラーが45.7～46円、民族系元売り玉の取扱い大手ディーラーが46円、旧米メジャー系元売りから仕入れる商社系ディーラーが46円で売り進めた。

川崎製油所出しLSA重油では、民族系最大手元売りから仕入れる地場系取扱いディー

ラーが45.6円で市場をけん引中だ。

油槽所出しLSA重油では東京・埼玉に動きなし。三愛東京オイルターミナル出しでは、複数ディーラーが47.8～48円で売値を据え置き、相場を形成中だ。

一方、横浜では処分売りが先行した。大東タンクターミナルで地場ディーラーが値下げ。同社の販価を中心に46.5～46.7円まで取引可能な水準が切り下がった。

◎中京 ○概況

9号地でガソリンが底上げ。製油所では課税軽油と未課税軽油の価格差が開いた。元売り2社の仕切り改定を控え、小口の仮需を伝える市場関係者も見受けられたが、全般的には様子見が大勢だった。

○ガソリン

製油所出しは前日から変わらずの44.2～44.7円(揮発油税込み98.0～98.5円)、9号地は同0.8円高の43.9～44.5円(同97.7～98.3円)。

2日引取り分の製油所出しは前日水準を維持。第2週分の系列仕切り上げ観測を受け、仮需を伝える卸業者も見受けられたが、全体の底上げに至るまでのパンチ力はなかったようだ。「8月末まで在庫した市場関係者が多い」(広域系)。

市場で伝えられた売買唱えは、四日市玉をベースに98～98.5円とほぼ前日並み。広域系中心に販価が提示されており、中堅元売り玉を取り扱う広域系は99円台の提示を据え置いた。商機を2週目以後と捉えているようだ。

9号地は続伸。大手タンク業者は1円の値上げに動き、関係各社に通知した。先高観測のほか、台風9号の接近に伴う輸入船のずれ込み懸念も勘定し、先行して値上げに動いたようだ。非常に強い勢力を有する台風9号は、輸入

船の進路を遮る形で九州地区および朝鮮半島に向け北上している。

広域系間でも安値対応はいったん見送られ、商社系ターミナルや丸中ターミナル中心に97円台前半の出物は後退。広域系が97.7～98円を提示したほか、98円を前後した98.3円までに複数の広域系が販価を設定した。

中堅元売りターミナル玉を取り扱う広域系の提示は前日から変わらず99円台。製油所玉同様、商機を2週目以降とみているようだ。

届け価格では、広域系の一角が量販店向けにEX換算97円以下の対応も残った。台風被害で九州地区の販売鈍化を睨んだ動きとの声や、上期業績を意識した数量確保などの声も市場関係者から寄せられたものの、詳細は判然とせず。

東商取ローリー先物市場10月限は前日比1.2円高の43.6円(揮発油税込み97.4円)で日中取引を終えた。出来高は20kl。

○灯油

製油所出しは前日から変わらず46.8～47.5円、9号地も変わらず45.9～46.5円。

2日引取り分の製油所、9号地は前日レンジを維持。卸業者間で積極的にやり取りは浮上しなかったほか、買い気も限られた。

四日市製油所出しでは、前日から目立った価格改定は寄せられず。旧外資系、民族系、商社系ディーラーの各ルート玉ともに卸業者間では前日並み46.8～47.5円の売買唱えが残った。

愛知製油所出しは48円台の提示が残り、前日同様に割高との意識が残ったようだ。広域系数社が系列価格に対して0.5円前後安めに

販価を設定している。ただし動意を伝える声はない。

9号地も様子見。大手タンク業者はガソリン同様、1円引き上げ47円台に販価を設定した。

一方、広域系間では在庫の整理売りも継続され、商社系ターミナルや丸中ターミナル中心に45.9～46円の提示や実際のやり取りが残った。46.5円まで複数の卸業者が販価を設定しており、47円台の出物は市場の関心が薄め。

東商取ローリー先物市場10月限は前日比0.9円高の46.4円で日中取引を終えた。出来高は20kl。

○軽油

製油所出し課税玉は前日比0.15円安の46.5～47.5円、未課税玉は同0.1円高の47.5～48.0円、9号地は変わらずの46.0～47.0円。

2日引取り分の製油所出し課税玉は、月変わりの値上げに対し、反動が入った。8月の物流鈍化を織り込み、9月はやや早めの販売枠仕様化に動いた卸業者が前日から0.3～0.5円値下げし、46.5円まで対応。47.5円まで広く販価提示が残った。

産燃向けに強みを有する卸業者によると、猛暑の後押しもあり、8月は一定の物流量が確保されたものの、それでも全体の取扱量は前年比10%超の落ち込みだったという。

また、元売り各社の8月小売り向け販売実績は、前年比95%前後にとどまったようだ。地区別では中京地区が首都圏や関西地区と比べて落ち込みがやや大きいとの声も寄せ

られた。

未課税玉は小幅続伸。特徴義務者向けの提示として、四日市玉を中心に47円台前半の提示は姿を消し、47.5～47.7円、さらに48円まで複数の広域系が販価を置いた。先高を見越した先行値上げも入ったようだ。

9号地は様子見。大手タンク業者は値上げに動いたものの、販価を据え置く卸業者もあり、商社系ターミナルや丸中ターミナル中心に46～47円の出物が残った。

2日までの週決めインタック価格として、滋賀県や三重県の地場陸運向けは届け78.5～79円、EX換算45円相当が残ったようだ。月変わりを意識し、8月最終週の値決め交渉では、「0.5円の値上げを打診したが壁は厚かった」（広域系産燃担当）。

○重油

製油所出しLSA重油は前日から変わらずの46.0～46.5円、9号地も変わらずの45.9～46.5円。A重油も変わらずの45.5～46.0円。

2日引取り分の製油所、9号地ともにLSA重

油はもち合った。前日の値上げが浸透し、この日は目立った価格改定は表面化せず。広域系や商社、地場系などが2日まで販価を設定済み。製油所出しでは、四日市玉を中心に46

～46.5円、9号地は45.9～46.5円の売買取えが卸業者間で残った。

製油所出しA重油に対し0.5円の下ざやで変わりはない。

◎阪神

○概況

スポット市況は小動き。ENEOS、出光昭和シェルが2日に通知する仕切り価格の改定待ちでマーケットは動意に欠ける。卸業者によって販価を下方修正し手持ち玉消化を急ぐ動きなども表面化した。総じて様子見ムードが支配的で値動きは限定的となっている。

○ガソリン

製油所出しが前日から横ばいの44.2～45.1円(揮発油税込み98.0～98.9円)、油槽所出しが同横ばいの43.5～44.5円(揮発油税込み97.3～98.3円)。

製油所出し、油槽所出しともに横ばい。仕切り価格の改定待ちで相場は依然静かな状況だ。仕切り価格に引上げ観測が流れているため、月間市況に連動する売り物を有する卸業者の間では自社玉温存の傾向が継続している。仕切り価格の引き上げを見込んだ仮需も多少生じてはいるが「思ったほどのオーダーは来っていない」(卸業者)。8月末に応分の仮需が生じていた分、足元では買い手の購買意欲が復調しきらないようだ。

なお ENEOS の堺製油所では1～8日にかけて、大阪製油所の精製停止を前に当初予定していた白油のレーン増強工事期間に入ったが、各油種で出荷の遅れなどはないという。

製油所出しでは、四国の中堅元売りルートで2日渡し分を対象とする98～98.5円の唱えが浮上。四国中堅元売りや中堅元売り玉をベースとする98.5～98.8円の出物もみられた。主に中堅元売り玉をベースとする98.9円の商いも継続。民族系元売り玉の取扱い業者は98.9円までの販売対応は容認する構えだ。足元は仕切り価格の改定待ちで値上げに踏み切る卸業者もあり、98.9円超えの出物も多く、製油所指定の買い手向けでは取引成立するケ

ースもあるが、荷動きは精彩を欠く。足元は油槽所玉の商談水準が変わっておらず、製油所市況は上伸力に欠けている。前日に引き続き、油槽所玉が相対的に安いため油槽所玉を選好する買い手が多い状況も変わっていない。

リムトレーディングボードにはこの日99.3円、99.6円の成約が掲載された。いずれも2日渡し分を対象とするディーラー間の取引だった。

油槽所出しでは、堺ターミナル出しが97.3～98円。櫻島ターミナル出しが98～98.3円となっている。98.3円超えの売り物もあるが、買い手の反応は総じて鈍い。

阪神出しの届け取引では、安値圏で EX 換算97円程度～97円台前半と見積もられる商いが継続。全体的には同97円台半ば～98円にかけての売り物が多そうだ。

元売りの市中調達関連では、民族系大手元売りがこの日、阪神製油所玉を99.2円で手当てした形跡がある。

大阪～京都にかけての府境周辺の小売市況をみると、国道1号線沿いの系列セルフ店が店頭表示128～131円程度で先週から大きな動きは出ていないが、128円の提示がやや厚みを増しているという。

西日本の海上市況は、現在46円程度で推移している。

○灯油

製油所出しが前日から横ばいの47.0～47.5円、油槽所出しが同横ばいの46.5～47.5円。

製油所出し、油槽所出しともに横ばい。新規材料に乏しく様子見ムードが広がっている。

製油所出しでは、四国の中堅元売りルートなどで2日渡し分を対象とする47～47.5円の出物が残存。旧米メジャー系元売り玉や旧外資系元売り玉をベースとする47.2円の出物もみられた。旧米メジャー系元売りルートでは47.2～47.5円の販価も点在している。このほか旧外資系元売りルートでも47.2～47.5円の唱えが散見。民族系元売りルートでは47.4～

47.5円の売り物がみられた。目先は47.5円までの出物に厚みがあり、これより高い玉に関心を寄せる声は少ない。

油槽所出しでは、堺ターミナルで46.5～47円付近の出物が点在。櫻島ターミナルでは47～47.5円の販価が残った。油槽所では広域ディーラーの一角も46円台後半で打ち出している。47.5円を上回る出物もあるが、買い手の反応は冴えないようだ。

西日本の海上市況は、現在42円台半ばで推移している。

○軽油

製油所出し課税玉が前日から0.1円高の46.0～47.0円、未課税玉が同横ばいの47.4～47.6円、油槽所出しが同横ばいの46.5～47.5円。

製油所出しの課税玉が上昇。仕切り価格の引き上げ観測が意識され、上値がやや軽くなっている。製油所出しの未課税玉、油槽所出しは横ばい。ディーラーごとに販価の修正はあったものの、総じて小幅に留まっていた。

製油所出しの課税玉では、2日期限で旧外資系元売り玉などを含んだ46～46.5円の出物が点在。民族系元売りルートでは46円台前半の唱えも聞かれた。他社玉をベースとする46円台半ばの出物もみられる。このほか旧外資系元売りルートでは46円台後半の唱えも浮上。

四国の中堅元売りルートでは46.5～47円の販価も聞かれた。旧米メジャー系元売りルート、中堅元売りルートでも47円の唱えが残る。47円を上回る出物もあるが、買い手の反応はほとんどない。

製油所出しの未課税玉では、2日渡し分を対象とする同業者間取引で47.4～47.6円の出物が残留。仕切り価格の改定待ちで様子見姿勢の卸業者が多かった。47.6円超えの売り物もあるが、未課税玉としてはやや高値の部類との見方が出ている。

油槽所出しでは、堺ターミナル出しの課税玉が46.5～47円程度。櫻島ターミナル出しの未課税玉が47～47.5円となっている。

西日本の海上市況は、現在48円台半ばで推移している。

○重油

A 重油は製油所出しが前日から0.05円安の45.3～46.0円。LSA 重油は製油所出しが同0.05円安の45.8～46.5円、油槽所出しが同0.05円安の46.0～46.7円。

製油所出し、油槽所出しともに小幅反落。手持ち玉の消化売りに押された。コロナ禍で

実需が依然精彩を欠く中、9月は19～22日にかけての連休が控え、実質的な取引日が少ないことを不安視する声も寄せられている。

なお、大阪製油所では5～8日にかけてレーン増強工事で重油の出荷規制が入るもようだ。

製油所出しのLSA重油では、広域ディーラーの一角が2日期限で45.8～45.9円を提示。別のディーラーも45.8～45.9円の販価を示した。旧米メジャー系元売りや旧外資系元売りともみられるルートでは45.5円の唱えが浮上。旧外資系元売りルートでは46～46.5円の販価が聞かれた。このほか民族系元売りルートでは45.8～46円の売り物が残存。民族系最大手元

売り玉、中堅元売り玉などの取扱い業者なども46.5円の販価を残した。46.5円を上回る唱えも聞かれるが、積極的に商談された様子は窺えない。

製油所出しのA重油は45.3～46円。LSA重油比0.5円安のまま変わっていない。

西日本の海上市況は、現在A重油が45円台後半、LSA重油が46円台前半で推移している。

◎四国

○概況

スポット市況は灯油、重油が弱含み。手持ち玉の消化を急ぐ卸業者が下値を試した。ガソリン、軽油は横ばい。ENEOS、出光昭和シェルが2日に通知する仕切り価格の改定待ちで様子見ムードが広がっている。足元は台風9号が北上中だが、四国でこれに関連する出荷規制は出ていないという。

○ガソリン

前日と同じ45.5～46.0円（揮発油税込み99.3～99.8円）。

横ばい。仕切り価格の改定待ちで模様眺めに徹する卸業者が多かった。2日の仕切り価格改定は1～1.5円の引き上げ観測が流れており、仮需も多少生じたようだが、全体的には8月末まで在庫補充した買い手が多かった反動で、新規商談は精彩を欠くとの見方が多い。

坂出では、民族系元売りルートで2日渡し分を対象とする99.3～99.5円の出物が残存。他

社玉を担いだディーラーは99.6～99.8円で打ち出している。民族系元売りルートでも99.6～99.8円の玉が残った。99.8円を上回る出物もあるが、買い手の関心は総じて鈍い。

菊間の業者間取引では、100円台後半の売り物が見積もりベースで調達可能となっている。

届け取引では、香川県の中讃地区向けが、届け99円台前半で売り込まれた。

○灯油

前日比0.2円安の47.7～48.4円。

反落。月変わり後も荷動きが振るわず、商談水準を押し下げている。今年は好天に恵まれお米の乾燥向け需要も立ち上がり「例年より遅め」（卸業者）という。仕切り価格の引き上げ観測が流れる中、仕入れコストが上昇する前に応分の悴消化を進める狙いの卸業者もいるようだ。

坂出では、民族系元売りルートで2日渡し分を対象とする47.7～48円の出物が散見。広域

ディーラーの一角も47.7円で打ち出している。他社玉をベースとする47.9～48.3円の出物もみられた。このほか民族系元売りルートでは48.3～48.4円の販価も聞かれた。48.4円を上回る売り物もあるが、買い手の反応は総じて鈍い。

菊間の業者間では、49円程度の売り物が見積もりベースで手当て可能となっている。

届け取引では、香川県の中讃地区向けが、届け48円台前半で売り込まれた。

○軽油

前日と同じ46.5～47.5円。

横ばい。仕切り価格の引き上げを見越し上値を試す卸業者もいるが、全体的には様子見ムードが強く商談水準が上がり切らない。

坂出出しの課税玉では、民族系元売りなどとみられるルートで46.5～47円の唱えが2日期限で浮上。広域ディーラーの一角は46.6円で打ち出している。このほか他社玉を担いだ卸業者らは46.8～47円を提示。民族系元売りルートでは47～47.5円の玉も点在している。

一方、未課税玉は48円付近から散見されるが、課税玉との値差を勘案すると、オーダーの入りやすい水準は47.5円までという。

菊間の業者間では、48円台半ばの未課税玉が見積もりベースで買付け可能となっている。

届け取引では、香川県の中讃地区向けが、課税玉の場合届け48円程度で見積もりが出された。

○重油

A 重油は前日比0.2円安の46.2～46.9円、LSA 重油は同0.2円安の46.7～47.4円。

反落。手持ち玉消化を進めるため、安値圏の出物にさや寄せする格好で下値を探る動きがある。

LSA 重油は民族系元売りルートで2日渡し分を対象とする46.2～46.3円の唱えが浮上。民族系元売り玉など複数ルートの仕入れを有するディーラーは46.5～46.9円で打ち出して

いる。他社玉をベースとする46.6～46.9円の出物もみられた。

菊間の業者間では、A 重油で47円程度、LSA 重油で47円台半ばの出物が見積もりベースで調達可能となっている。

届け取引では、香川県の中讃地区向けが、A 重油の場合届け47円程度、LSA 重油の場合同47円台半ばで売り込まれた。

◎九州（福岡）

○概況

スポット相場はガソリン、灯油、軽油で上昇した。前日まで残存していた安値の玉が後退し、相場の引き上げに繋がった。一方で大半の業者は様子見姿勢を維持していた。重油はもち合い。

台風9号が九州に接近しているため、ジャパンオイルネットワーク（JONET）八代油槽所では出荷停止しているという。

○ガソリン

前日から0.2円高の44.2～44.7円（揮発油税込み98.0～98.5円）。

続伸している。西戸崎出しでは安値の玉が後退し、相場が引き上げられた。ただ、2日の仕切り価格通知までは様子見をする姿勢が優勢で前日の唱えを維持する動きもみられた。

西戸崎では97円台の玉が廃れ、相場は98円

台に上昇した。前日まで97円台後半を提示していた業者は98円に値上げ。98円の玉をベースに98.2円まで販価を形成する動きがみられた。他業者の提示価格は98.5～99円となっている。

ただ、98.5円を超える玉は市況の様子見姿勢の面が優勢のもよう。実際に手当て可能な水準は98.5円までのようだ。この日は価格設

定に苦慮している売り手の声も聞かれた。

東浜出しの相場は前日から変わらず、99.5～99.7円となった。西戸崎出しに比べるとやや割高なため、買い手の反応は鈍いようだ。荒津出しも値動きはなかった。

小売り市況の相場は120～125円程度動いているようだ。ただ、提示価格は115～140円

までばらつきがあるようだ。相場について商社系ディーラーは「なかなか上がらない。売れ行きが良くないため、上げようという機運が出てこない」と述べた。

複数の関係者によると八代及び小倉のJONETではガソリンの出荷が規制されているという。出荷再開は未定。

○灯油

前日比0.15円高の47.5～48.1円。

小幅に上昇した。前日まで安値を提示していた業者が唱えを引き上げたため、相場はやや上伸した。前日の唱えを維持した業者も多かったため、上値は固かった。

西戸崎出しは48円台前半が相場となっている。一部調達量の多い業者向けには48円の玉の提示があった。また市況連動玉を扱う業者は48.1円の唱えを維持した。また調達量の

多い業者向けには47.8円など48円割れの提示もみられた。

東浜出しでは47円台後半の玉を調達することができる。油槽所玉を扱う業者の提示は前日から変わらず47.5円だった。この他、広域ディーラーから47.6円の唱えがあった。

荒津出しは変わらず。業者間の唱えはまちまちで、48円程度や49円台前半の唱えがみられた。

○軽油

前日比0.1円高の47.5～48.0円。

上昇した。課税玉で前日まで47円台前半で売込みを進めていた業者が、唱えを引き上げた。このため相場はやや強含んだ。未課税玉の値動きはみられなかった。

課税玉は西戸崎で前日まで47円台前半で売込みを進めていた業者が、47.5円に唱えを引き上げた。この玉をベースに販価を組み立てた広

域ディーラーの唱えは47.6～47.7円。東浜出しでも47.7～47.8円で商談を進める動きがみられた。

未課税玉の相場は48円台前半～半ばとなっている。一方で課税玉の相場を意識した48円の出物が流通している。このため、48円を超えると買い手はやや少なくなるもよう。

○重油

A重油は46.4～47.0円、LSA重油は46.9～47.5円といずれも前日から変わらず。

A重油は前日の唱えを維持する業者が多く、相場の値動きはなかった。西戸崎出しでは引き続き46円前半の玉を調達することができる。一般的な商談水準は46.4～47円で変わっていない。

LSA重油の商談水準は46.9～47.5円と前日から変わりなかった。相場はA重油比0.5円の上ザヤを形成して推移している。

ただ、需要家の間でも徐々にA重油からLSA重油に切り替える動きが出ているため、A重油比0.5円以上の価格設定をする業者も一部でみられた。

◎マーケットニュース

○三菱商事エネ＝太陽鋳油への経営参画を発表、運転手不足などに対応

三菱商事エネルギーは8月31日、フリート業者である太陽鋳油への経営参画を発表した。9月末をもって株式の売買を実施する。発表によると、今後も石油需要の減少に加えトラックドライバーの慢性的な不足など、社会構造の変化に直面することが想定されるとしたうえで、太陽鋳油の販売ネットワークに三菱商事エネルギーのリソースを組み合わせることで「新たな付加価値を創造」し、エネルギー業界に貢献することを目指すとした。

○総務省＝軽油元売り指定業者数、8月も変動なし

総務省税務局都道府県税課が1日明らかにした8月の軽油元売り指定業者動向によると、製造元売り、販売元売り、元売りともに7月から変動はなく、指定業者数20社が維持された。内訳は製造元売り7社、販売元売り10社、輸入元売り3社。

◎お知らせ

○電力データCD・2019年度版の販売について

リム情報開発は、電力データCDの2019年度版の販売を7月15日から開始いたします。初版となる2014年度版のリリース以来、各方面からご好評をいただいております。電力データCDの最新版となります。最新版では、2019年4月から2020年3月までの1年間に、全国の公共機関が公募した電力調達について、詳細な情報を提供いたします。2019年度版は、収集件数4,740件(昨年度4,512件)で、うち比較可能なデータは3,379件(同3,282件)です。

関連記事

<https://www.rim-intelligence.co.jp/news/news-domestic/1545787.html>

お申込みはこちらへ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/powerDataCd2019.pdf>

○季刊誌『エネルギー通信』発刊のお知らせ

リム情報開発は昨年8月20日、四半期のエネルギー動向が一気に把握できるように、初の季刊誌として『エネルギー通信』を発刊しました。石油、ガス、石炭など化石燃料の市況動向や各種貿易統計、小売自由化が進む電力やガス事業を含む国内エネルギー業界の最新事情、その他エネルギーにかかわる幅広いトピックを取り上げます。リム情報開発がこれまでに蓄積してきた各エネルギーの価格情報をもとに、エネルギーの『いま』を易しく、かつ詳しく解説します。リムが得意とする日々の取引動向をミクロの情報とすると、『エネルギー通信』では、業界の大きな流れを俯瞰するマクロの情報を掲載していきます。『エネルギー通信』は2、5、8、11月の各月下旬に発刊いたします。購読はWEB閲覧のみとなり、価格は年間契約の場合18,000円(各号5,000円)です。下記のリンクよりお申し込みください。

【目次】

1 各種市況サマリー

① 原油②LNG③LP ガス④ガソリン⑤電力⑥石炭

2 エネルギーアウトルック

① エスカレートする米国・イラン対立の経緯②ホルムズ海峡を巡り偶発的事態発生リスク高まる
⑤原油市場の見通し-3つのシナリオほか

- 3 アジア各国の製油所稼働状況
- 4 各種貿易統計
- 5 国内エネルギー事業
- 6 エネルギー・フォーカス
- 7 ニュースアーカイブ

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/eneletter>

○リム電力レポートの英語版発刊のお知らせ

リム情報開発は、2020年1月6日(月)にリム電力レポートの英語版を発刊しました。日本の電力市場は、20兆円の市場規模と世界でも有数の規模を誇る中、2016年4月の電力小売全面自由化以降、海外の事業者からも新規参入の動きが相次いでいます。特に海外の事業者による卸電力市場への注目度は高く、日本の卸電力市場の動向を理解する上で、電力レポートの英語版を希望する声はこれまでも多くありました。

このたび、こうした声に応えるべく、当社では英語版を発刊する運びとなりましたので、お知らせ致します。新たに発刊する英語版でも、日々の卸電力取引の動向を詳細に伝えるとともに、火力発電の動向、スパーク/ダークスプレッド、多種多様なグラフなど、日本語版と同様の情報を掲載して参ります。

詳細は電力チーム (03-3552-2411、info@rim-intelligence.co.jp) までお問い合わせください。

◇弊社ウェブサイトURLは www.rim-intelligence.co.jp

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

○『バイオマスレポート』発刊のお知らせ

リム情報開発は1月23日、発電用の木質ペレットやPKS(パームヤシ殻)の価格評価を始めました。この価格評価や市場動向などを網羅した週刊『バイオマスレポート』を発刊し、関係者の皆様に役立つ情報をお届けします。世界的に環境問題に対する意識が高まる中、木質バイオマスを燃料とした発電所の建設が国内でも相次いでいます。これに伴い、木質バイオマスの価格動向に対する関心がかつてないほど高まっています。『バイオマスレポート』は、国際市場の動向に留まらず、国内未利用木材の動向や各種貿易統計、入札情報などを随時掲載していきます。

『バイオマスレポート』は毎週木曜日に発刊いたします。価格は毎月20,000円です。下記のリンクよりお申し込みください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/bio/>

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

【東京本社】

Tel: 03-3552-2411, Fax: 03-3552-2415

e-mail: info@rim-intelligence.co.jp

【シンガポール支局】

Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,



RIM INTELLIGENCE

Lorry Rack

*3F Yaesu-dori Hata Bldg, 1-Chome 9-8 Hatchobori, Chuo-ku, Tokyo Japan
Tel: 81-3-3552-2411 Fax: 81-3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp*

e-mail: hagimoto@rim-intelligence.co.jp

[北京支社]

Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725

e-mail: guanhong@rimbj.com

[上海支社]

Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2020 RIM INTELLIGENCE CO.